

令和6年度かわさき教師塾

☆『明日の先生日記』☆

子どもの笑顔が
あられるまち
かわさき

Colors, Future!

いろいろって、未来。

川崎市

『明日、子どもたちの笑顔の前に立っている私』をイメージする学び

10月19日(土) 一人ひとりの子どもの状況に応じた指導・支援の考え方、学級経営の充実に向けての講義、子ども理解に基づく「めざしたい学級」についてのグループ協議が行われました。

令和6年10月19日(土) 日程

- 10:00 児童生徒理解
—子どもとの関わり方・向き合い方—
- 11:10 学級経営のポイント
- 12:00 ~昼食・休憩~
- 13:00 子ども理解と集団作り
- 14:45 振り返り・事務連絡 15:00 終了

講師が受講生たちとアイコンタクトを取りながら講義をしていたのが印象的。

本日、お伝えしたいこと

- 1 一人ひとりの状況を把握する
一人ひとりの状況に応じて指導(支援)する
- 2 自己肯定感を高める
そのために、自己有用感を高める
- 3 一人ひとりを大切に
登校した同じ状態で家庭に返す
でも、ほんの少しの成長(1対35と1対1)

主語は「子ども」であり、子どもが…何を…どのように…何ができるように…が考えることが大切。

自己肯定感を高めるためには自己有用感を高めることが大切で、そのために子どもたちを褒めること、子どもが周りから認められることの大切さを学んだ。

自己肯定感と自己有用感

- ・よいところを「褒める」で自己肯定感を高める
- ・他者との関わりの中で、「認められた」と実感して自己有用感が高まる

自己有用感から自己肯定感へ

グループ協議で「賛成・反対はしてもいいけど、批判はダメ」という意見を聞き、すごく良い言葉だと感じた。

学級経営の第一歩として、一人ひとりの声に耳を傾け、状況や変化を把握し、内面を敏感に感じ取るため常にアンテナを張っておくことが大切だと思った。

自分の居場所として安心して学習に励むことのできる学級づくり

学級経営では、認め合い、励まし合い、支え合いのできる学級集団を意識し、子どもの居場所づくりに努めていきたい。

学級経営で重要なこと

- 選択できない出会いから始まる生活集団
- 認め合い・励まし合い・支え合える学習集団に変えていく
- ・自他の個性を尊重
- ・相手の立場にたって考え、行動
- ・相互扶助的で共感的な人間関係
- ☆早期に創りあげる☆
- 支持的な学級風土を!

子どものストレス要因の一つに人間関係がある。子どもが嫌な思いをしている可能性があるため、適切な支援を行えるように、個々の子どもの状況を把握することが大事だと感じた。

同じ教員を目指す様々な立場の人と話し合い、演習を行うことで一層教員になりたいと思った。新鮮で楽しかった。

学校・学級が生徒の居場所であるために、生徒とコミュニケーションを図り、信頼関係を構築することで良い学級の基礎ができるのではと思った。

代表の方々の場面指導は、お話が上手でハキハキしていて、自分には足りない部分を見つめ直す機会になった。

皆さんの共感的な姿に感謝しています

良い学級について話し合うと、共通して「否定的なことは言わない」「みんなで支え合って同じ方向に向くことができる」「誰一人も取りこぼさない」といった意見が出て良かった。

児童生徒一人一人が存在感を感じ、安心して自分の力を発揮できる学級に

相手の身になって考えられる学級

自分の力を学級全体のために役立てようとする学級

相手のよさを見つげようとする学級

互いに協力し合う学級

支持的な学級風土を!

場面指導の演習で、何を伝えたいかを明確にし、子どもが考え、気付くための発問や、まとめまでの流れを考える難しさや重要性を学んだ。

いつでも相談タイム「どんなことでも…ご遠慮なく…」

休憩時や受講終了後だけでなく、また開催日に限らず、「どのようなことでも構いません…遠慮しないで…」教師塾担当の誰でも構いません。いつでも気軽に安心してお声を掛けてください。

★速報★【かわさき教師塾の会場変更のお知らせ】

令和7年2月15日(土)に開催予定の「かわさき教師塾」の会場を、次のように変更しましたので、ご案内申し上げます。皆さまにはご迷惑をおかけして誠に恐縮ですが、何卒ご容赦の上、お間違いのないように足をお運びください。

<変更前>川崎市役所本庁舎2階ホール

<変更後>川崎市総合教育センター第4研修室